

## 令和元年度 第 4 回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨

日 時	令和 2 年 2 月 7 日 (金)	14:00~16:45
場 所	琉球大学医学部 管理棟 3 階	大会議室
構 成 員	36 名	(欠席者 7 名)
1 号委員	(琉大病院長)	大屋 祐輔
2 号委員	(県立中部病院長)	本竹 秀光 (代理) 玉城 和光
	(那覇市立病院長)	屋良 朝雄
3 号委員	(県立八重山病院長)	篠崎 裕子
	(北部地区医師会病院長)	諸喜田 林
4 号委員	(沖縄県医師会長)	安里 哲好
5 号委員	(沖縄県歯科医師会長)	真境名 勉 (欠席)
6 号委員	(沖縄県薬剤師会長)	亀谷 浩昌
7 号委員	(沖縄県看護協会会長)	仲座 明美 (欠席)
8 号委員	(沖縄県政策参与)	対象者なし (構成員外)
9 号委員	(沖縄県保健医療部長)	砂川 靖 (欠席)
10 号委員	(琉大がんセンター長)	増田 昌人
11 号委員	(琉大医療福祉支援センター長)	平田 哲生
12 号委員	(琉大薬剤部長)	中村 克徳
13 号委員	(琉大看護部長)	大嶺 千代美
14 号委員	(琉大事務部長)	鬼村 博幸
15 号委員	(県立中部病院副病院長)	玉城 和光 (代理) 吉田 幸生
	(県立中部病院血液腫瘍内科部長)	朝倉 義崇 (欠席)
	(那覇市立病院外科統括科部長)	宮里 浩
	(那覇市立病院外科部長)	友利 寛文
16 号委員	(県立八重山病院外科部長)	尾崎 信弘
	(県立八重山病院副院長)	平良 美江
	(北部地区医師会病院副院長)	柴山 順子 (欠席)
	(北部地区医師会病院看護部長)	我如古 春美
17 号委員	(沖縄県がん患者会連合会事務局長)	安里 香代子
	(がんの子供を守る会沖縄支部代表幹事)	片倉 政人
	(公益社団法人日本オナミ協会沖縄支部長)	大城 松健
	(ゆうかぎの会(離島圏におけるがん患者支援を考える会)会長)	真栄里 隆代 (欠席)
18 号委員	(国際医療福祉大学大学院教授)	埴岡 健一
	(一般社団法人グループ・ネクサス理事長)	天野 慎介
	(沖縄タイムス編集局社会部記者)	新垣 綾子
19 号委員	(県立宮古病院長)	本永 英治 (欠席)
	(県立宮古病院外科部長)	松村 敏信
	(県立宮古病院副院長)	中山 幸子
	(琉大病院病理部長)	吉見 直己 (欠席)
	(琉大病院小児科講師)	百名 伸之
	(那覇市立病院放射線科部長)	足立 源樹
部会報告者	緩和ケア・在宅医療部会	笹良 剛史
	小児・AYA部会	百名 伸之
	離島・へき地部会	松村 敏信
	情報提供・相談支援部会	大久保 礼子
陪 席 者	琉球大学医学部附属病院地域医療部特命准教授	中島 信久
	沖縄県保健医療部健康長寿課	仲里 可奈理

会議に先立ち、増田委員(10号委員)から、当日配布資料について説明があった。

## **議事要旨・議事録・委員一覧**

### **1. 令和元年度第4回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(1月24日開催)**

増田委員から、資料1の第4回幹事会議事要旨(令和2年1月24日開催)の確認があった。

### **2. 令和元年度第3回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(11月1日開催)**

増田委員から、資料2の第3回協議会議事要旨(令和元年11月1日開催)の確認があった。

### **3. 令和元年度3回沖縄県がん診療連携協議会議事録(11月1日開催)**

増田委員から、資料3の第3回協議会議事録(令和元年11月1日開催)の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

### **4. 協議会・幹事会委員一覧**

増田委員から、資料4に基づき、部会委員の一部に変更について報告があった。

## **有識者報告事項**

### **1. 埴岡委員報告**

埴岡委員(18号委員)から資料5に基づき、沖縄県がん対策推進計画の中間評価と指標データについて報告があった。この指標データから、以下のとおり提案等がなされた。

- ①沖縄県のがん死亡率は相対的に悪化し、特に大腸がん、子宮頸がんについては、対応の検討について、提案がなされた。
- ②沖縄県内のがん登録情報を、資料内容の増補改訂を行い、定期的に情報収集し、公表することについて、提案がなされた。
- ③薬剤使用料のデータを指標化しモニタリングすることで、がんに関する医薬品の使用方法等について、地域の医療行為頻度や医療行為の過不足を確認する手立てとなる可能性があることについて、説明があった。

また、埴岡委員から、以下について意見及び要望があり、状況を把握する委員から回答があった。意見:県内離島で予算上使用不能となる薬剤が存在することについて、是正されるべきではないか。

回答:篠崎委員(3号委員)から、県立八重山病院では、薬剤の予算措置については、予算を増額する等様々な方法で対応できるよう調整に努めているとの回答があった。

要望:NDB-SCR資料について、今後「ベンチマーク部会」でモニタリング等実施いただきたい。

回答:増田委員から、ベンチマーク部会で対応を検討する旨の回答があった。大屋委員長から、数値の指標化等についてはベンチマーク部会で対応可能だが、外部識者として、今後とも引き続き、埴岡委員にも指標等について意見等をいただきたいとの発言があった。

また、安里香代子委員(17号委員)から、県内各医療機関の個別動向についての指標等を知ることにはできないかとの質問があり、増田委員から沖縄県の医療計画では、詳細なデータを公表していないとの回答があった。また、埴岡委員から、今回の指標データは、国や県に様々な指標が掲載されているデータを集積し、指標化したものであるとの説明があった。

### **2. 天野委員報告**

天野委員から資料6に基づき、前回の協議会に引き続き、国内でのがんに関する研究への患者・市民参画(PPI)について、日本医療研究開発機構(AMED)の作成したPPIガイドブックについて、紹介があった。

また、大屋委員長から、PPIは都道府県単位又は研究機関単位のどちらの単位で推進されているかとの質問があり、天野委員から、国立がん研究センターでは患者市民パネルの活動がされているように、研究機関単位での推進となっているとの回答があった。

### 3. 新垣委員報告

新垣委員(18号委員)から資料7に基づき、がん教育について情報提供等報告があった。

また、本報告の関連内容として、増田委員から、資料15に基づき県内のがん教育の経緯と展開について報告があった。

また、全国がん患者団体連合会が作成した外部講師のためのe-learningについて、天野委員から、がん教育について協力可能であるとの発言があった。

### 審議事項

#### 1. 沖縄県がん診療連携協議会 要項の改正について

#### 2. 沖縄県がん診療連携協議会幹事会 運営に関する申し合わせについて

増田委員から資料8、資料9に基づき、琉球大学医学部附属病院ががん診療連携協議会への更なる体制強化を図るために、琉球大学医学部附属病院がんセンター運営委員会委員長を協議会の委員として加えたいとの提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

また、承認された琉球大学医学部附属病院がんセンター運営委員会委員長の青木産科婦人科教授から、協議会委員就任の挨拶があった。

### 3. がんゲノム医療について

増田委員から資料10及び当日配布資料に基づき、がんゲノム医療の現状及び琉大病院における今後のがんゲノム医療のスケジュール等の説明があった。また、琉大病院の院内外の対応として、琉大病院のがんゲノム外来での対応の際は、各医療機関に琉大病院との対応窓口を1か所に集約することについて提案があり、審議の結果、承認された。

また、天野委員から以下3点について質問があり、増田委員が回答した。

質問①がんゲノムの拠点病院である九州大学病院へのエキスパートパネル照会について、制限はあるか？

回答②現状としては、制限されていない。また、琉大からの依頼予定も多くないことから、当面は九州大学病院に制限なく対応いただけると考えている。

質問②現状のがんゲノム医療では、効果的な薬物療法に至るのは1割程度となっていることから、患者に対し、過剰な期待を持たせないことが重要であると考え、どのように対応する予定か？

回答②がんゲノム医療の状況について、研修会で県内の医師へ情報提供を行っていく予定である。また、各医療機関から琉大病院への窓口を設けることで、各医療機関で患者に対し状況を説明する役割を果たしていただくと考えている。

質問③院内における遺伝性がんについての相談体制はどのようになっているか？

回答③琉大病院では、コンパニオン診断を行う患者に対し、遺伝カウンセリング室外来を受診することを推奨することで、対応を図っている。

### 4. がん患者さんの生殖機能温存について

百名委員(19号委員)から資料11に基づき、各医療機関に対し、小児・AYA世代のがん患者に対する妊孕性温存療法についての研修会への参加依頼があった。また、今後、小児AYA部会で、各医療機関において妊孕性温存窓口の開設について協議している予定であることの報告があった。

また、安里香代子委員から、AYA世代は就労していないことも多いことから、妊孕性温存の説明だけではなく、経済的な支援も同時に行うこと等金銭面での補助について質問があり、百名委員から、妊孕性温存療法は保険適応外であるため高額となること、現在既に県へ補助等申請しているが、引き続き申請していくとの回答があった。

### 5. 令和元年度の協議会・幹事会の開催日時について

増田委員から資料12に基づき、令和2年度の協議会・幹事会の開催日時について説明があり、多くの医師の参加する学会と日程が重複していることから、第3回協議会の開催日程を、11月6日(金)から、11月13日(金)へ変更したいとの提案があり、承認された。

## 報告事項

### 1. 患者会等よりの報告

#### (1) 安里委員報告

安里香代子委員から資料13及び当日配布資料に基づき、前回協議会で報告された、令和元年10月12日開催された第5回離島がんフォーラム開催IN久米島について、がんのステージを誤って説明を受けた患者の心情について、追加報告があった。

また、八重山でのフォーラム、うるま市でのフォーラムについての報告があった。今回、両フォーラム参加者から講演会をSNSで知ったという回答があったことから、今後はSNSの利用を積極的に検討したいとの発言があった。

#### (2) 片倉委員報告

片倉委員(17号委員)から資料14に基づき、2月15日の国際小児がんデーについての報告があった。また、沖縄県では、令和2年2月9日にコープアップルタウン店、パレット久茂地、サンエーメインプレイス2階、てんぷす沖縄で小児がん啓発キャンペーンを開催するとの報告があった。また、アフラック(保険会社)の協力があり、郵便局窓口で募金を行えることとなったとの報告があった。

### (次番号なし) 沖縄県医師会からの報告事項「65歳未満の健康・死亡率改善プロジェクト『働き盛り世代の健康づくり』」について

安里哲好委員(4号委員)から当日資料に基づき、「65歳未満の健康・死亡率改善プロジェクト『働き盛り世代の健康づくり』」について報告があり、県医師会として大腸がん対策を支援していきたいとの発言があった。

### 2. 「がん教育」について

増田委員から、有識者報告(3. 新垣委員報告)時に合わせて報告したため、割愛された。

### 3、4. 第13回都道府県がん診療連携拠点病院連絡会議及び緩和ケア部会報告について

増田委員から資料16、資料17に基づき第13回都道府県がん診療連携拠点病院連絡会議及び各部会報告について報告があった。

### 5. 沖縄県がん地域連携クリティカルパス適用状況について

### 6. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告について

### 7. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

増田委員から、時間の都合上、内容は割愛するが、今後も活動予定がある旨の報告があった。

### 8. 厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議

増田委員から資料21～資料30に基づき厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議について報告があった。

## 部会報告事項

### 1. 医療部会

宮里委員(15号委員)から資料31に基づき、医療部会の活動・取り組み状況について報告があった。

### 2. 緩和ケア・在宅医療部会

笹良部会長から資料32に基づき、緩和ケア・在宅医療部会の活動・取り組み状況について報告があった。

### 3. 小児・AYA部会

百名委員から資料33に基づき、小児・AYA部会の活動・取り組み状況について報告があった。

### 4. 離島・へき地部会

松村委員から資料34に基づき、離島・へき地部会の活動・取り組み状況について報告があった。また、「北部・宮古・八重山医療圏におけるがん医療をどこまでやるか」について、引き続き協議中であるとの報告があった。

その他、以下2点について、今後沖縄県へ要望するか等検討中であるとの説明があり、次回の協議会までに、必要に応じて要望書を作成するよう努めることとなった。

①高額の医薬品を購入することについて、県の規程上いくつかの障害や複雑な手続きはあるが、全く対応不可能ではないことを確認した。現状で対応していくか、より手続き等を簡略化するよう改善を求めるかについて。

②院外の医療機関とのネットワークを構築するにあたり、ネットワーク環境が悪く、実質上対応が困難である。今後ネットワーク環境の改善を要望するか、個人情報の流出防止策を講じた上で一般のネットワーク回線を利用すること等を検討するかについて。

### 5. 情報提供・相談支援部会

大久保情報提供・相談支援部会員から資料27に基づき、情報提供・相談支援部会の活動・取り組み状況について報告があった。

### 6. ベンチマーク部会（報告なし）

(以上)